



いずみちゃんと学ぶ 泉崎のコト

～村議会ってなに？～

企画財政係
☎53・2409

Q 村議会ってなに？

A わたしたちの「泉崎村」を住みやすい村にするためには、みんなでどうしたらよいか考えていかなければなりません。でも、みんなが集まって話し合うのは大変です。そこで、わたしたちはみんなの代表（議員）を選んで、かわりに話し合いをしてもらいます。その代表が「村議会議員」で、議員の集まりが「村議会」です。村長もみんなが選んだ代表です。

村議会では村長が計画した仕事やお金の使い方（予算）、村のルール（条例）などについて、それでよいのかどうか、話し合っ決めてます。村長は、村議会で決まったことをもとに村の仕事を進めます。

村議会と村長は、お互いに意見を出し合い、協力して村民の幸せのためにいろいろな仕事をしています。



Q 村議会議員とは？

A 村議会議員は、4年ごとに村民による選挙で選ばれます。

村議会議員になれる人は25歳以上の村民で、村議会議員を選ぶことのできる人は18歳以上の村民です。泉崎村では、全員で10人が選ばれます。

伊南川の岩に急かるる白波に
よき鮎をらむと罔鮎打ち込む
寝静まる家をあとにし心急ぐ
鮎師の心少年のごと
国道を南に走り那珂川へ
西に向かへば会津大川
前走車橋にかかりて速度落つ
釣り人ならむ吾も川を見る
釣り場なる橋の手前の緑陰に
ひっそり玉子の自動販売機

このコーナーでは、令和3年の第74回福島県文学賞で正賞を受賞されたあらい孝祐氏の作品をご紹介します。

今月も第72回福島県文学賞で奨励賞を受賞された作品「若鮎と走る」全50首の中から5首をご紹介します。



あらい孝祐氏プロフィール
昭和34年泉崎村生まれ
白河高校、青山学院大学文学部卒、平成26年まで村職員として勤務。
第72回福島県文学賞短歌部門奨励賞
第74回福島県文学賞短歌部門正賞